



GROUP CEO Talk

WHAグループ・P・ニニースレター

ジャリールポーン・ジャル コーンサクン氏からのメッセージ

アセアンにおける物流、不動産および工業団地の総合的な大手プロバイダーであるWHAグループは、ダイナミックでグローバルな経済の中で事業を運営しています。弊社は様々な分野の新しい企業に対して常に門戸を開いており、物流、工業団地開発、インフラと発電、デジタル・プラットフォームの4つの事業分野で提供する包括的なサービスのターンキー・ソリューションを通じて、顧客企業の皆様の事業拡大を支援できることを誇りに思っております。共に成長し、次の段階を目指して注力することにより、私たち

はサービスの改善をさらに促進できます。

WHAグループは、タイの国際競争力を高め、国内総生産を拡大するタイランド4.0プロジェクトによって近代化を図る政府の展望と戦略を全面的に支持しています。また、弊グループは東部にあるチョンブリ、チャチュンサオ、ラヨーン各県に新たな産業とサービスを呼び込むことを目指す東部経済回廊(EEC)プログラムの忠実な支持者でもあります。弊社の9か所の工業団地、戦略的な位置にある注文建築の工場と高品質な倉庫など、クラス最高の施設群は、鉄道、道路、空路および海路による輸送で卓越した接続性を提供するという政府の決意から直接的な恩恵を受けます。政府はこれらの取り組みを優先的に進めているため、弊社も顧客、国および地域のために持続可能な成長への集中的な取り組みに役立つ、施設とサービス分野における更なる革新を実現すべく、態勢を整えています。

産業界の進歩の度合いがますます速まっているのに合わせて、WHAグループは革新的で創造的であり続ける能力と、新たなソリューションを他社に先駆けて市場に提供する能力を継続的に発揮しています。弊社は、顧客企業が各自の事業運営に力を集中できるようにするためのインフラストラクチャ、施設、および人的資源を持ち合わせていますが、それと同時にタイと東南アジアを次のレベルに引き上げるための構造的で断固たる目標を達成するために、政府と協力し合っています。

私たちは、政府がタイに呼び込もうと試みている新たな産業を歓迎するために最大限の努力を払っています。第1のS字型カーブ産業は次世代自動車、スマート電子機器、医療・ウェルネス・ツーリズム、農業とバイオテクノロジー、未来のための食品で構成され、新たなS字型カーブ産業はロボティクス、航空と物流、バイオ燃料と生化学、デジタルと医療ハブで構成されますが、これらはタイにさらなる投資を呼び込むことでしょう。

これは共同での取り組みであり、公共部門と民間部門の両者がゆるぎない決意を固めていることから、私たちはEECが成功するものと確信しています。両者は協力し合い、すべての利害関係者にメリットをもたらす状況を生み出す計画、政策と戦略を実施します。

WHAグループは、国内および海外の企業に強力な基盤を提供する役割を引き続き果たし、将来のタイ経済の発展において主導的な役割を演じていく所存です。

WHAヘマラート社がタイのラヨーン県プリアックデーン地区で新たな工業団地「ヘマラート・イースタン・シーボード工業団地4」(HESIE4)の分譲を開始しました。

国際的な技術企業のコンチネンタル社は、2億5,000万ユーロを投じて2019年までに建設予定の乗用車向けタイヤ「グリーンフィールド」の新工場用地として、HESIE4の土地区画約75万平方メートルを購入しました。

タイ・バンコク、2017年2月9日。WHAコーポレーション株式会社のグループ企業の一社であるヘマラート・ランドアンドデベロップメント株式会社は、同社9か所目の工業団地となるラヨーン県の「ヘマラート・イースタン・シーボード4」の分譲を開始しました。HESIE4は合計300万平方メートル(1,860ライ)の開発用地から成り、環境面および工業団地としてのすべての認可を取得済みで、コンチネンタル社の工場開設スケジュールに遅滞なく対応し、仕様を満たすことができます。

HESIE4工業団地では第1期として約75万平方メートルの面積が開発されており、2017年の末までに電気・水道などのインフラを含めた整備が完了する予定です。HESIE4の分譲用地では現在、整地とインフラ整備が進められており、コンチネンタル社が必要とする規模、特性、インフラの要件を満たす土地区画を提供可能です。

デビッド・ナードン工業団地・国際担当グループ・エグゼクティブは、次のように述べています。「今回の案件は、コンチネンタル社とWHAヘマラート・チームとの共同の取り組みでした。弊社はプロセス、インフラ、工場用地に関するコンチネンタル社の要件について、決定時期に先立って十分理解するよう努力し、土木工事の準備手順を開始しました。その時点から両社は共同で作業を進め、コンチネンタル社が製造要件を最適化できるように土地区画と公共サービス設備の設計を行いました。」



グリーンフィールドAPACのプロジェクト・マイケル・エイナー(Michael Eigner)氏は、次のように説明しています。「コンチネンタル社における新工場の用地選択プロセスは非常に複雑で、市場と顧客までの距離の近さ、およびいくつかのインフラ要素だけでなく、労働力確保の容易さと、サポート提供元となる教育機関についても考慮する必要があります。土地とインフラに関する区画選択プロセスにおいて、弊社には具体的な製造工場設計要件があります。HESIE4におけるヘマラート社との素晴らしい共同作業を期日通りに開始できました。このことについては、両社のチームに心から「感謝の気持ち」を表明するとともに、今後も実りある協力が続くことを希望します。」

コンチネンタル・コーポレーション。コンチネンタル社は、人々と貨物を輸送するための優れた技術を開発しています。国際的な自動車部品サプライヤーであると同時にタイヤメーカーでもあり、工業分野のパートナーである弊社は、信頼の置ける提携企業として、持続可能で安全、快適、個別的、しかも価格の手頃なソリューションを提供します。2016年におけるシャーシ・安全性、内装、パワートレイン、タイヤ、ContiTechの5部門の総売上は、速報値で約405億ポンドに達しました。コンチネンタル社は現在、55か国で22万名を超える従業員を雇用しています。タイヤ部門は、現在世界各地に24か所以上の生産・開発拠点を有しています。広範な取り扱い製品と研究開発への継続的な投資は、コスト効率が高く環境保護面でも効率的な可動性の実現に大きく役立っています。タイヤ部門は約4万9,000名の従業員を雇用する世界の大手タイヤメーカーの1つとして、2015年には104億ポンドの売上を達成しました。

WHAグループ・ニニースレター

デビッド・ナードン氏からのメッセージ



WHAヘマラートの工業団地開発は、先日開業した弊社の9か所目の工業団地、ラヨーン県のヘマラート・イースタン・シーボード工業団地(HESIE4)に象徴されるとおり、着実なペースで拡大を続けています。HESIE4の第1期事業は1,860ライ(約300万平方メートル)の土地開発から成り、電気ガス水道のインフラストラクチャは今年中に完成する予定です。国際的なテクノロジー企業であるコンチネンタル社が2億5,000万ユーロのGreenfieldタイヤ工場の建設地として弊社の工業団地を選んだことをここに発表いたします。これは、タイ政府の東部経済回廊(EEC)プログラムに賛同してタイに信頼を置き

続ける主要な国際的投資家を引き付ける能力を弊社グループが有していることの証にほかなりません。WHAヘマラートはEECプログラムを全面的に支持しており、タイ経済を進化させてイノベーション、創造性、研究開発とグリーン・テクノロジーによって成長を促進させることを目指す「タイランド4.0」政策推進の一翼を担いたいと考えています。弊社では、次世代自動車技術、ロボティクス、航空機、バイオ燃料、生化学などの新たな種類の成長産業を迎え入れる態勢を整えています。

去る2月には、ベトナムの政府当局がゲアン省のドン・ナム経済ゾーン内にあるWHAヘマラート工業ゾーン第1期の免許を承認し、弊社は飛躍的な前進を遂げることとなりました。ハノイの南方290kmに位置するゲアン省は、ベトナムの全63省の中で最大の省で、320万人の人口を擁し、労働人口は190万人、大学は17校あります。

498ヘクタールの敷地を占めるWHAヘマラート工業ゾーン第1期は弊社グループの長期計画の一環で、合計面積は3,200ヘクタールに及ぶ可能性があります。ベトナムはアセアンにおける工業と製造業の重要な基盤となっており、中国、韓国、日本などの市場への主要なゲートウェイとしても進化を遂げています。この記念すべきプロジェクトは弊社がタイ国外で手掛ける初めてのものであり、苦勞の末に得たこの経験を存分に活かして新たな企業を引き付け、現地雇用を拡大させ、アセアン地域が持つ可能性の認識度を高めたいと考えています。

写真は、HISCAの開所式に出席した労働大臣のシリチャイ・ディスタクン大將(中央)、WHAコーポレーションのジャリールポーン・ジャルコーンサクングループCEO(左から2人目)、労働副大臣のチャルーン・ノブクワン大將(右から2人目)、プントリス・サミティ(労働事務次官(左端))とタイ・ドイツ職業訓練学校のソムワン・プリンラクチャリン校長(右端)。



WHAコーポレーション株式会社の子会社であるヘマラート・ランドアンドデベロップメント株式会社は、イースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)において、労働省職業開発局、モンクット王トンブリ工科大学およびタイ・ドイツ職業訓練学校(TGI - Thai German Institute)と共に、「ヘマラート産業技能協力アカデミー(HISCA)」の開校を祝いました。このアカデミーの主目的は、有資格の熟練労働者を1年以内に10万名養成し、政府の「タイランド4.0」政策に沿って人的資源と労働技能の開発を促進することです。

WHAのヘマラート社、熟練労働力を強化「ヘマラート産業技能協力アカデミー」を通じて実施

弊社は、繁栄のために必要となるリソースをすべてのお客様に引き続き提供すると同時に、協力し合いながら目標を達成するために、常にお客様の長期的な成功に貢献すべく努めてまいります。



# 上場初日、初値は28バーツ

上場初日記念式典に出席しました。タイ証券取引所での初値は、公募価格26・25バーツより6・67パーセント高い28バーツとなりました。

ソムヨット・アナタプラユーン社長（中央、WHAコーポレーション株式会社）のジャリコーン・ジャルコーンサクン社長（右から3人目）、ウエット・スツチャルン社外取締役兼監査委員長（右から2人目）、WHAユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社のウイサート・チュンワタナ執行取締役（右端）、ステイパット・セリラットサイアム商業銀行株式会社（SCB）投資銀行業務担当副社長兼財務顧問（左から2人目）、タイ証券取引所のケサラ・マンチュスリ理事（左から3人目）とサントイ・キランナ上級執行副理事長兼発行者マーケティング部門責任者

以上の全員がWHAUP社株式上場初日記念式典に出席しました。タイ証券取引所での初値は、公募価格26・25バーツより6・67パーセント高い28バーツとなりました。

労働省（MOL）職業開発局



### コンチネンタル社、ヘマラットESIE 4で杭打ち式を開催

ワールドクラスのタイヤメーカであるコンチネンタル・タイヤ（タイランド）株式会社は先日、ラヨーン県のヘマラット・イースタン・グループ・エグゼクティブ（前列右から5人目）とウイット・ジラティカーン（前列右から4人目）、PLTグリーンフィールド・ラヨーン社のマイケル・エイナー（Michael Egan）プロジェクト・マネージャー（前列左から4人目）、および両社の経営陣。

## WHAグループ、ベトナムのゲアン省で初めての工業団地を開発

バンコク、2017年2月20日  
完全に統合された物流・工業施設ソリューション分野におけるタイのリーダー企業、WHAグループは、WHAヘマラット・シエンコ4株式会社設立についてベトナム政府当局の認可を得たことを発表しました。この新会社は、WHAグループの子会社であるWHAヘマラット・ランドアンドディベロップメント（SG Engineering Construction Corporation No. 4株式会社）（シエンコ4）との間で近日中に設立予定の合弁会社で、ゲアン省にあるドンナム経済ゾーン内で「WHAヘマラットインダストリアルゾーン」の第一期プロジェクトを開発します。

WHA社の取締役会会長を務めるソムヨット・アナタプラユーン博士は、ベトナムのゲアン・スアン・フック首相の主宰によりゲアン省の省都、ヴィン市で開かれた会議において、WHAコーポレーション株式会社とヘマラット・ランドアンドディベロップメント株式会社が代表し、ベトナムにおけるWHAヘマラット社の投資の概略について説明を行いました。

ゲアン省のWHAヘマラットインダストリアルゾーンは、総合的な工業ゾーンと、第二期以降にはハイテクゾーン、商業区、および居住区の開発の両方で構成され、ベトナムのWHAヘマラットインダストリアルゾーンは、現在ではアセアンにおいて重要な産業拠点および製造拠点となっているため、多数の海外投資家を引き付けています。製造業の高い競争力に支えられ、回復力豊かな強い成長を示しているため、ベトナムの経済見通しは非常に明るく、将来有望です。ベトナムは中国、韓国や日本などの主要市場へのゲートウェイとして戦略的な立地に恵まれており、弊社が初めての直接的な市場参入を果たせることを非常に嬉しく思っています。

## 「産業技術協力アカデミー」の創設で

4者による提携の目的は、人的資源および労働者の技能の開発を促進し、「タイランド4・0」政策に即して東部経済回廊（EEC）の発展を推進することです。

バンコク、2016年11月23日  
公共部門と民間部門を代表する合計4つの機関と企業は本日、「産業技術協力アカデミー」を設立するための覚書（MOU）に署名したことを発表しました。このアカデミーは、ラヨーン県にあるイースタン・シーボード工業団地のESIEプラザ1に開設される予定です。4者は、東部経済回廊（EEC）における人的資源の開発を促進し、労働者の技能を高めるために一致協力して取り組み方針を明らかにしました。

同MOUの署名式典はヘマラット社のイースタン・シーボード工業団地（ESIE）で開催され、以下の4者により署名が行われました。

ベトナムのゲアン・スアン・フック首相（右から3人目）と共に写真に収まるWHAコーポレーション社とヘマラット社のソムヨット・アナタプラユーン取締役会会長（中央、WHAのジャリコーン・ジャルコーンサクン社長（左から4人目）、ヘマラット社のデビッド・ナードン工業団地・海外担当グループ・エグゼクティブ（右から2人目）。

在建設中または計画中のものを含めて4つの開港があるため、インフラに関して優れた立地に恵まれています。

シエンコ4社のゲエン・トゥア・フィン会長は、次のように述べています。「このプロジェクトのためにWHAヘマラット社と提携関係を結ぶことができ、喜ばしく思います。WHAヘマラット社はタイにおける工業団地の開発と運営で非常に豊かな経験をお持ちであり、その経験をベトナムで生かしていただければ幸いです。」

ハノイの南方290kmに位置するゲアン省は、ベトナムの全63省の中で最大の省で、320万人の人口を擁し、労働人口は190万人、大学は17校あります。ドンナム経済ゾーンのWHAヘマラットインダストリアルゾーンは、ハノイとホーチミン市を結ぶ1A高速道路と鉄道路線に隣接し、ヴィン国際空港から10キロメートルの距離にあり、近隣のエリアには現

証書を受領しました。この会議には、中央委員会の委員でゲアン党委員会の書記を務めるゲエン・ダク・ヴィン氏（左端）とゲアン省人民委員会のゲエン・シユアン・ズオン委員長（右端）も出席しました。

その席でWHAコーポレーション株式会社とヘマラット・ランドアンドディベロップメント株式会社のソムヨット・アナタプラユーン取締役会会長は、ベトナムにおけるWHAヘマラット社の投資の概略について説明を行いました。

ベトナムのゲエン・スアン・フック首相（右から3人目）と共に写真に収まるWHAコーポレーション社とヘマラット社のソムヨット・アナタプラユーン取締役会会長（中央、WHAのジャリコーン・ジャルコーンサクン社長（左から4人目）、ヘマラット社のデビッド・ナードン工業団地・海外担当グループ・エグゼクティブ（右端）。

博士は語っています。タイ・ドイツ職業訓練学校（TGI）のソムワン・ブーンラクチャルン校長は、次のように説明しています。「私たちは技能向上プログラムと、ワールドクラスの労働力を開発するためのコースの実施に取り組んでいます。アカデミーの講師たちは、地域内における比較優位性を生み出して維持するための戦略的なアプローチを教えることとなります。」

## ヘマラートで更なる飛躍を目指す企業

### 楠本化成(タイランド)

産業・民生向け添加剤の製造・販売

### トランシー・ロジスティクス(タイランド)

海上・航空・国内・国境の各種輸送及び倉庫業

ローカル市場のすぐ近くに  
提案型事業で顧客ニーズを掘り起こす

製造業の拠点タイから全世界へ  
物流と人のハーモニー企業

楠本化成(タイランド)はヘマラート・イースタン・シーボード工業団地に設立され、2017年2月に開所式が行われました。東京に本社を置く「楠本化成」が親会社で、タイ事業の中心となる添加剤の製造・販売のほか、化成品商材全般を扱う商社事業、環境試験機の製造・販売などを主な業務としています。16年には創業90周年を迎えました。

海外市場への輸出・販売は、欧州を皮切りに1980年代半ばよりスタートさせました。今では世界各地に総代理店を持ち、主要約20社と取り引きを行っています。技術力・営業力の高い代理店と組むことで、きめ細かい提案型ソリューションサービスの提供を実現することが可能となりました。

海外生産拠点の確保はタイで3カ所目となります。これまでに中国とインドで工場を立ち上げ、ローカル市場のニーズに合わせた添加剤商品を生産・販売してきました。東南アジアの拠点であるタイについても、日本からの輸出に代わる現地生産の必要性を当初より痛感していたところですが、11年の大洪水を受けインド進出を先行させた経緯があります。この度、満を持してのタイでの

生産開始となりました。同社の特徴は、徹底したローカル市場志向にあります。楠本慶太社長も「当社の場合、取引先の日系企業が海外に進出するようになったから海外に目を向けるようになったのではなく、そこにマーケットがあったから海外進出を決めました。ローカル市場の近くで生産を行い、ニーズを掘り起こす。それが当社の事業のあり方です」と話しています。実際に、タイでの事業の約60%がローカル向けとなっています。

現地生産のメリットについて、同社では「トータルコストダウン」を真っ先に挙げます。原材料の現地での安価調達ももたらす、顧客にとっての輸送コストの削減も加えて、手元にあるので品質管理も容易になる。さらには、タイ工場に併設したアプリ・ラボでさまざまな技術支援やサービスが受けられる。こうした一連のメリットがトータルとしてのコスト削減を実現させているのです。

タイ工場の敷地面積は約8ライ(1ライ=1600㎡)。ここに生産棟と倉庫、事務棟が並びます。工場内では自動化が進み、少数精鋭に



よる、日本と変わらない高品質、高性能の製品を生産しています。将来的には生産ラインの拡張にも対応できるように、十分な余剰スペースも確保しています。

東南アジア市場については、製造業の盛んなインドネシアやベトナム、さらには将来性豊かなミャンマーなどへの関心が尽きません。そうした中でも、核となるのがタイであると考えています。陸続きという輸送メリットも成長への期待を膨らませます。製造業の拠点タイで、ローカル市場を対象にしっかりと地固めをしたと同社では戦略を描いています。

ヘマラート・イースタン・シーボード工業団地への入居は、タイ東部を中心に数ある工業団地を楠本社長自らが訪ね、最終決断しました。「ここだ!」という、風を感じたそうです。高台にあるため洪水への心配もなく、タイ唯一の深海港レムチャパン港とも近い。高速道路網も充実してどこへ行くにも便利。さらには豊かな労働資源に恵まれ雇用への心配も少ない。そういったことにも満足されたそうです。「何よりも、ヘマラート社の担当者のみならず、親身になって相談に応じてく

Trancy Logistics (Thailand) Co., Ltd.

日本にある親会社「日本トランスシテイ株式会社」は、三重県四日市市に本社を置く1895年創業の老舗総合物流企業。業界上位のリーディングカンパニーです。時代と共に紡績、繊維、石油化学、自動車、流通といったさまざまな産業分野に対して多様なサービスを提供し、取扱貨物を増やしてきました。時代を先取りしたグローバルな視点からシステムティックな物流を創造する。それが日本トランスシテイのあり方です。

この精神をタイの市場で実践に移しているのが現地法人のトランシー・ロジスティクス(タイランド)です。1990年6月の設立。当時は、日系企業がタイ進出を本格化させようとした始めたちょうど黎明期に当たりました。同社ではタイの物流需要をいち早く判断、それを足掛かりに東南アジア事業を加速・拡大させてきました。海上輸送、航空輸送、国内陸上輸送、物流センター、越境陸上輸送(クロスボーダー輸送)についても、アセアン経済共同体(AEC)発足を見据え、以前から積極的に取り組んできました。製造業の拠点タイをハブとしたグローバルな物流システムの構築。タイか

ら全世界へ。それが同社の社会的使命と考へてのことでした。グループの海外進出は早く、80年に北米市場に進出、次いで選ばれた重要拠点が、東南アジアの中心地タイでした。以降、シンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、ベトナム、カンボジア。東南アジア市場は今ではグループの重要な戦略拠点となるまでに、その存在感は高まっています。高い経済成長が見込まれるタイの隣国ミャンマーにも駐在員事務所を置いて、この地域での物流システムを支えています。

東部ラヨーン県のアマタ・シテイ工業団地内、およびタイ唯一の深海港レムチャパン港近くに展開しているのが、同社の物流センターです。自動車、電機、電子の各種部品など多岐にわたる商材・貨物を取り扱っています。いずれの物流センターも交通至便の絶好のロケーションに建てられおり、タイムロスや機会損失を許しません。顧客企業の工場等とも近く、それが信頼の向上にもつながっています。

取引企業や取扱量の拡大から、今年3月に新たな物流センターを東部エリアにオープンさせました。立地

場所として選ばれたのが、ヘマラート社が展開する物流倉庫群「ヘマラート・ロジスティックパーク1」(HLP1)です。ここに延べ床面積3800㎡の新倉庫を構え、レムチャパン港からわずか20キロ。主要幹線道路もすぐ目の前。同社では、ハイテク分野など今後の基幹産業にも対応した新たな重要物流拠点として機能させていく方針です。

ヘマラート社のHLP1を選んだ理由については、川村健治マネジング・ダイレクターは「(ヘマラート社)スタッフとの信頼関係と彼らの誠実さ」を第一に挙げています。立地条件はもとより、付近一帯の物流事情や税関について「親身になって相談に乗ってもらい、たくさん適切な有益な情報を寄せてくれた」と話します。豊富なデータに裏付けられたきめの細かい対応。物流と人のハーモニー。こうしたことが決め手となったと明らかにしてくれました。

当該地域は、タイ政府が注力して進めている東部経済回廊(EEC)のルート上とも重なります。政府はここに少なくとも5000億バーツを拠出してインフラ整備を進める考



えです。港湾施設の整備やウタパオ空港の拡張、高速鉄道の敷設などの検討が進められています。HLP1への進出はそのアプローチへの第一歩。同社のさらなる躍進が、ヘマラート社の物流サービスから始まるようとしています。

# ヘマラートニュースダイジェスト

## WHAグループ

### WHAグループ、プミポン国王陛下を追悼

WHAコーポレーション株式会社および同社子会社は、全従業員がプミポン・アドゥンヤデート国王陛下の思い出を胸に刻み、陛下の鎮魂を祈るための特別な式典を開催しました。亡き国王はタイの発展のために命を捧げ、70年間の在位期間全体を通して国民の生活向上のために尽力しました。



### WHAグループのCEOが「クオリティ・パーソン・オブ・ザ・イヤー」アワードを受賞

WHAコーポレーション株式会社のジャリーボン・ジャルコンサクングループCEO (中央) は、財団法人タイ科学技術会議より、「クオリティ・パーソン・オブ・ザ・イヤー」アワード (不動産事業開発部門) を授与されました。同氏の受賞は、業界への傑出した貢献と、タイ社会への奉仕が評価されたもので、授賞式にはWHA社の他の経営陣も出席しました。



### WHAコーポレーション株式会社がタイランドTOPカンパニー・アワード2017を受賞

WHAコーポレーション株式会社は先日、タイランドTOPカンパニー・アワード2017 (倉庫開発企業部門) を受賞しました。タイ商工会議所大学とビジネス・プラス・マガジン誌が主催した授賞式では、WHAグループ最高経営責任者のジャリーボン・ジャルコンサクン氏 (右端) が同社を代表して、枢密顧問官で名誉教授のカセム・ワッタナチャイ博士より賞の盾を授与されました。WHAコーポレーション株式会社は、物流業界においてリーダー企業としての役割を果たすと同時に、タイ社会への貢献に努めたことが評価され、今回の受賞となりました。



### WHAグループが2017年度フロスト&サリバンタイランド・エクセレンス・アワードを受賞

WHAコーポレーション株式会社は先日、2017年度フロスト&サリバン・タイランド・エクセレンス・アワードを受賞しました。受賞部門は「倉庫開発企業」で、2年連続での受賞となります。WHAグループ最高経営責任者のジャリーボン・ジャルコンサクン氏が同社を代表して、フロスト&サリバン・アジア・パシフィック社のアジェイ・サンダー副社長より同賞の授与を受けました。WHAグループは、タイの物流産業の発展に影響を及ぼす重要な役割を果たしたほか、地域社会の持続可能性を高めるための取り組みを行ったことが認められ、今回の受賞となりました。



### WHAグループが「アジアで最も信頼されるブランド・アワード2016」を受賞

ジャリーボン・ジャルコンサクンWHAグループ最高経営責任者 (左端) は、WHAコーポレーション株式会社 (WHAグループ) を代表して、アジアで最も信頼されるブランド・アワード委員会のMr. Hemant Kaushik理事長 (右端) とベルギー・ルクセンブルク/タイ商工会議所のDr. Sutharm Valaisathien会長 (右から2人目) より、「アジアで最も信頼されるブランド・アワード2016」 (物流倉庫・工場開発者部門) を授与されました。この栄誉ある賞は、この地域内においてブランドとしてのリーダーシップ、誠実さ、業績、社会貢献の各面で秀でた企業に贈られます。



## ロジスティック

### タマサート大学の大学院生がWHAを訪問

タマサート・ビジネス・スクールで学ぶ大学院生のグループが、アユタヤ県ワン・ノイにあるWHAメガ・ロジスティクス・センターとLFロジスティクス (タイランド) 株式会社の倉庫を訪問し、WHAコーポレーション株式会社のジャックリット・チャイサニット最高執行責任者 (前列右から4人目)、シヤバス・チャタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (前列左から4人目) およびLFロジスティクス (タイランド) 社のタイ責任者であるジャンヤ・タナアティポン上級副社長 (前列左から5人目) による温かい歓迎を受けました。同グループは物流施設をくまなく見学し、この機会を利用して業界の幹部や専門家に質問を行いました。この見学ツアーにより、大学院生はワールドクラスの物流会社の構造と事業運営を現場で直接見て学ぶことができました。



## 工業開発

### WHA社とヘマラート社、インベスターズ・クラブ年次会議を開催

WHA社とヘマラート社は先日、工業・国際担当グループ・エグゼクティブを務めるデビッド・ナードン氏の指揮のもとに、チョンブリのパッターナ・ゴルフ&スポーツクラブにおいて、2016年度のインベスターズ・クラブ年次会議を開催しました。この会議では、顧客企業との情報交換、ベストプラクティスと業界最新情報の共有が行われました。また、タイ工業団地会社のウィーラボン・チャイバム総裁 (中央) が東部経済回廊 (EEC) の政策と方向性に関して洞察に富んだ講演を行いました。会議には、IHSオートモティブ社のシニア・アナリスト、ジャックリット・ラークソンブーンシリ氏、WHAインフォナイト株式会社のクライトス・オンチャイサク最高経営責任者、およびヘマラート社のタニン・スプーンルアン工業団地運営担当副社長も出席しました。



### BOIバリとBOIフランクフルトの訪問団がヘマラート社を見学

ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社は先日、BOIバリ事務所のスー・チトラ・サッサディ・アバイ投資促進事務官 (左から5人目) に率いられたBOIバリおよびBOIフランクフルト事務所からの訪問団による来訪を受けました。同訪問団はシヤバス・チャタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (左から4人目) による温かい出迎えを受けた後、フォード・モーター社が入居しているヘマラートESIEなどのヘマラート社の工業団地を見学しました。同訪問団は、アセアンで最大規模の業務委託見本市である「サブコン・タイランド2016」に参加するためにバンコクを訪れました。



### 初めてのWHA・ヘマラート・BUILDビジネス・マッチング・イベントが開催される

先日、チョンブリ県においてWHA・ヘマラート・BUILDビジネス・マッチング・ショーケースが開催されました。このイベントは、ヘマラート社の工業団地に入居している企業が近隣の企業の中から部品や資材の新規サプライヤーを見つけること、および部品や資材の国内調達率を高めることを目的としたものです。このイベントに出席したBUILD (BOI Unit for Industrial Linkage Development) のウィラット・タッサリンカンサクン部長は、WHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャタチャイロート法人マーケティング担当取締役による歓迎を受けました。2日間のフォーラムでは、サプライヤーとバイヤーの個別面談、企業幹部によるプレゼンテーション、および政府の新しい政策や業界の最新情報などを取り上げた、BOI高官による講演が行われました。



## カスタマーニュース

### タイディー・メタル社が新工場の開所式を開催 ラヨーンESIEで

日本の大洋商事株式会社とダイナックス・インダストリー株式会社の合併会社であるタイディー・メタル (タイランド) 株式会社は先日、ラヨーン県のイースタン・シーボード工業団地 (ESIE) にある新しい製造工場の開所式を開催しました。この工場は最新鋭の機械設備とテクノロジーを完備しており、自動車産業を含む様々な業界の顧客向けに最高品質の特殊鋼部品を生産します。



写真は、ラヨーンの新工場開所式に出席したタイディー・メタル (タイランド) 社の丹野進夫社長 (右から2人目) とヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社のラダ・ロジャナウライウッド工業用地顧客開発担当部長。

### クストム・ケミカルズ (タイランド) 社、新工場の開所式を開催。ヘマラートESIEで

日本に本拠を置く塗料・接着剤用添加剤製造大手メーカーである楠本化成株式会社の子会社、クストム・ケミカルズ (タイランド) 株式会社は先日、チョンブリ県にあるヘマラート・イースタン・シーボード工業団地 (HESIE) の8 ライの敷地に建設された新工場の開所式を開催しました。同社は、現地製造のメリットを活かし、タイ国内、ASEAN 地区の顧客に対し、日本製と変わらない高品質な製品を供給する計画です。



写真は、左端から黒板 雄作/Managing Director/TSK Engineering (Thailand) Co., Ltd. 村本 剛尚/Managing Director/Thai Takasago Co., Ltd. ラダ・ロジャナウライウッド工業用地顧客開発担当部長、ヘマラート社 楠本慶太/代表取締役社長/楠本化成株式会社 針井一義/Managing Director/Kusumoto Chemicals (Thailand) Co., Ltd. 石川 伸吾/取締役副社長/楠本化成株式会社

## 公共サービスと変電

### 上場初日、初値は28パーツ

ソムヨット・アナンタプラコーン社長 (中央) WHAコーポレーション株式会社のジャリーボン・ジャルコンサクン社長 (右から3人目) ウェット・ヌッチャルーン社外取締役兼監査委員長 (右から2人目) WHAコーポレーション・アンド・パワー株式会社のウィサート・チュンワタナ執行取締役 (右端) スティバット・セリラットサイアム商業銀行株式会社 (SCB) 投資銀行業務担当副社長兼財務顧問 (左から2人目) タイ証券取引所のケサラ・マンチュスリー理事長 (左から3人目) とサンティ・キラナン上級執行副社長兼発行者マーケティング部門責任者、以上の全員がWHAUP社株式上場初日記念式典に出席しました。タイ証券取引所での初値は、公募価格26.25パーツより6.67パーツ高い28パーツとなりました。



## CSR

### WHAグループ、南部の洪水被害者への寄贈を実施

WHAグループは、先日タイ南部を襲った洪水の被害者を支援するために、ネーション・マルチメディア・グループと共同で飲料水 1 万本と医療用品の寄贈を実施しました。これらの救援物資は、この災害によって清潔な水を手に入れない人々や、生活に打撃を受けた人々に配布されます。写真は、WHAコーポレーション株式会社のソムヨット・アナンタプラコーン取締役会会長 (左から2人目) とシヤバス・チャタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (左端) が、ネーション社のオフィスでネーション・グループのワライボン・ティッパヤスブラック上席副社長 (右から2人目) に寄贈品を手渡しているところ。



### WHAグループ、タイ南部の洪水被害者に義援金を贈る

WHAコーポレーション株式会社のジャリーボン・ジャルコンサクングループ最高経営責任者 (中央右側) は先日、タイ南部で発生した深刻な洪水で被害を受けた住民を支援するために、10万パーツの義援金の小切手をタイ工業団地公社 (IEAT) のクリッタヤボン・ダツバダツタ副総裁 (中央左側) に託しました。贈呈式にはWHAコーポレーションのシヤバス・チャタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (右から2人目) をはじめとする経営陣も出席しました。



### WHAグループ、クロン・バン・カシ学校に米を寄贈

シヤバス・チャタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (2列目中央) に率いられたWHAコーポレーション株式会社の代表団は、サムットプラカーンにあるクロン・バン・カシ学校を訪問し、生徒たちの昼食用に100キログラムのジャスミン米を寄贈しました。この貢献活動は、米の供給過剰の問題に直面しているタイの農民の支援を目的としたものです。



### WHAグループ、東部臨海地域とサラブリ県のヘマラート社工業団地周辺の公立学校に米を寄贈

WHAコーポレーション株式会社 (WHAグループ) の子会社であるヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社は、東部臨海地域とサラブリ県のヘマラート社工業団地の周辺にある 88 の公立学校に 1 万キログラムのジャスミン米を寄贈しました。シヤバス・チャタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (2列目右から3人目) に率いられたこのCSR活動は、現在米の供給過剰問題に直面しているタイの農民と、生徒たちの昼食を支援することを目的としたものです。

